

## 第5回宇陀市総合計画審議会

日時：令和4年2月25日(金) 午後2時00分～

場所：農林会館

### 1. 開会

市長あいさつ

金剛市長：

金剛でございます。本日は、第5回目の総合計画審議会ということで参加させていただきました。本当に貴重なご意見をいただき、それを我々事務局でまとめさせていただいて、また多くの方の意見を聞いて、ということで本日、皆様のところ以案という形でお出しさせていただきましたところ。1回目の時に皆様に申し上げたことを振り返りますと、6つ申しました。

- 1つ目は、先行きが不安、不透明な時代に向けて宇陀市の強みをどう生かしていくのか。
- 2つ目は、そのために多くの市民の皆様意見を聞いてほしい。子どもから子育て中の若い世代の意見というのを特に意識してほしい。
- 3つ目はSDGsを意識してほしい。
- 4つ目は、施策の考え方について縦割りをなくしてほしい。
- 5つ目は、職員間で大いに議論してほしい。
- 6つ目は、総花的にではなく、少々偏っても具体的で力のある計画にしてほしい。

そんなことを職員に指示しました、ということをお前でご挨拶させていただいたと思います。色々事務局の方もまとめるのに苦労してくれたようで、今が宇陀市の頑張りどころの時期かなと思っておりまして、そのためにも行政だけが取り組むというよりも、オール宇陀で取り組むということ、そして宇陀市に関わっていただくお一人おひとりが町づくりを意識していただけるように計画書についても表現の工夫を少しはできたのかなと思っています。

本日は審議委員の皆様におかれましては、本当に忌憚のないご意見を頂戴いたしまして、この中期基本計画がより実効性のあるいいものになりますようお願い申し上げまして、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願い申し上げます。

出席委員 18名

## 2. 説明

### 中期基本計画（案）の確認について

～事務局から資料の説明～

伊藤議長：

それではこれから皆様にご質問、ご意見あるいは感想でもあれば頂戴できればと思います。

吉川委員：

よくまとまっているなと感心しております。ただ 1 点だけ質問があります。先ほどもご説明の中にありましたが 42～43 ページの施策体系の中で「健幸なまち」「暮らしやすいまち」「活力あるまち」の色分けが右と左で違うのには何か意図があってされていますか？視覚に訴える意図がありますか？私は目があまり良くないので、色が濃い方が目で追いやすいかなと思いました。

事務局：

42～45 ページにかかるところだと思いますが、基本構想のところの色が薄く、基本計画のところは濃くなっています。これには理由があります。今回、中期基本計画策定にあたり、基本構想はそのままで基本計画のみを変更するという形なので、今回変更した基本計画を目立たせるために色で差をつけています。

吉川委員：

よく分かりました。目が悪いので地の白い部分との境が分かりづらかったのですが、説明を受けてよく分かりましたのでけっこうです。

伊藤議長：

説明があれば分かりますが、これを見ただけで市民の方々がそこまで理解できるかといえばなかなか難しいところです。

事務局：

説明を聞いたら分かってもらえるかと思いますが、その説明が書いてないので、最終的には吉川委員のおっしゃるように同じ色で統一させていただく方が見やすさという意味ではいいのかなと思いますので、事務局のほうで見やすさを重視して検討したいと思っています。

松塚委員：

前回発言した内容はだいたい取り入れてもらっています。下段の方に用語の説明が入っています。以前は後ろの方にありましたが、今回はそのページに記載されているので皆さんには分かりやすいと思います。ありがとうございます。

また、74 ページにあるように、奈良県には、なら担い手・農地サポートセンターがあります。生産部の方ではここを利用して農地を貸したり借りたりできるところがたくさんあります。これはいいことだと思いますので、やっていただいたらありがたいです。

それから、基本理念ですが、28 ページの基本理念は、従来の市民憲章がこの基本理念になっているようですが、ここに基本理念を市民憲章のように載せなくてもいいのでしょうか。もともとの基本理念とは違ったかもしれません。市民憲章を基本理念にされているのですね。これもいいことだと思います。市民の方が見られた時にどう感じられるかと思ったので。

事務局：

市民憲章とは、前期のもののことでしょうか。

松塚委員：

そうです。それは継続しているのであれば、この第 2 次宇陀市総合計画の中で、これから中期に入ってくるので、前の時の市民憲章をそのまま使えば良いのではないのでしょうか。

事務局：

前期での宇陀市民憲章を入れさせていただきます。

伊藤議長：

まだイラストが一部ないところもありますが、そこには事務局がふさわしいものを選んでいただけたと思います。前回でいろいろな改善点の指摘がありましたが、拝見したところそれらがほぼ修正されていました。人口の数字が違っているという意見もありましたが、そこも正しく整理されています。皆さん、ご覧になってお分かりのように、前回に比べると非常に分かりやすく見やすくなっております。恐らく、前回の総合計画に比べると相当見やすく、分かりやすく、力を入れてやりたいことがしっかりと打ち出されておりますし、宇陀市がどんな事業に取り組んでいるのかということもよく表現されていると思います。

水野委員：

今後の各部署の具体的な計画やスケジュールを知ることはできますか。

事務局：

事業計画のことですか。

水野委員：

具体的な内容のことです。

事務局：

総合計画だけでなくどの計画もそうですが、立てて終わりではありませんので、PDCA を実践していきます。冒頭にあったように、来年度に総合計画の検証をしていきます。ほかの計画においても、計画を立て、実際にその計画が進んでいるかどうかという進捗も含めて管理していきます。

伊藤議長：

基本計画の構想に基づいたいろいろな施策があり、施策の中でこれから毎年、その施策がどのくらい進捗しているのかをこの場で審議会の委員が検証する機会がありますので、そこで実際に何がどれくらい進んでいるのかを確認できると思います。

事務局：

今まさに計画を立てているところですが、中にはすでに検証をしていただいている委員さんもいらっしゃいます。先ほど説明がありましたように、今回は 24 の施策の方向性に 53 の施策、前は 64 だということですが。この 53 の施策の後ろには市全体のすべての事業が入っており、全部で 400 くらいのいろいろな事業があります。そこにすべて点数や表をつけて、資料 8 ページのような形で「どれだけ実現できたのか」を毎年検証させていただいています。

ですから、あくまでもこの冊子に載っている事業は、この後ろにもっとたくさんあるということをご理解いただけたらと思います。

伊藤議長：

この中期基本計画だけでは具体的なことは見えないですが、今回、この計画を立てて、それに基づいて実際に施策・事業をしていくので、実施した結果については 1 年後、我々のなかで検証させていただき、その場で結果が明らかになるということです。

三本木委員：

総合計画は素晴らしく見やすく分かりやすくていいと思います。この中で、全体の中で何でもいいので日本一になれるようなもの、日本一を目指せるものはないでしょうか。今はそうでなくても将来的に宇陀市が日本一になれるものがあれば宇陀市が元気になれるので

はないかと思います。私も分からないわけですが、皆さんにこれを伸ばしたら、と感ずるものがあれば、それをここに入れてやっていくというのはどうでしょうか。

伊藤議長：

日本一になる、つまり、住民が宇陀を一番いいところだと思えるように、暮らしやすく働きやすくなるようにとここで挙げていらっしゃるわけで、宇陀で誇れるものを、市民が「これは宇陀にしかない」「宇陀が一番だ」と思うことだと思います。勝手に作られた基準で「住みやすさ日本一」というのではなく、宇陀の市民のほとんどが「宇陀はいいところだ」と思ってもらえることを目指すことが一番大事だと思います。市民が宇陀を誇りに思う、住んでいてよかったと思う子供が、市から出て行っても将来戻ってくるという気持ちになるような場所であればそれが一番いいと思います。

三本木委員：

今はそれがなくても、今後そういうものがあれば。それを育てていく、それを目指して作っていくのだということ、「日本一」というのはひとつの言い方であって、目指すところはそこで、そういうものが出てくれば嬉しいです。今は中期を考えているが、最後までに何か目指すことができてほしいと思います。

伊藤議長：

そういう考え方や思いは大事だと思います。ありがとうございます。他の委員の方はどうでしょうか。特に意見がないということは、皆さんがこの内容をだいたい理解いただけたことだと思います。あとは、これをいかに実現していくかということだと思います。

最初に市長から話があったように、これまで中期計画に関して今日を含めて5回、審議会を重ねてまいりました。これまで、皆さんから積極的に意見やご指摘をいただき、最初のころの計画に比べるとずいぶんと中身が充実して、見栄えがするようになってきました。現時点でまだできていないところも一部ありますが、ほぼ完成したと思います。これにイラストを入れるなどの微修正を加え、最終的に答申としたいと思います。修正については会長に一任いただきたいと思います。事務局と調整して仕上げてまいります。よろしいでしょうか。

各委員：

意義なし

伊藤議長：

ありがとうございます。では、これをもって答申の内容とさせていただきます。

事務局：

伊藤会長に一任ということで、委員の皆さまありがとうございます。今日いただいたご意見やイラスト、最初の市長の挨拶なども加えまして、最終の印刷前には答申書を皆さまにお送りさせていただけたらと思っております。前回もありましたように、この本冊子については部数に限りがあります。概要版はあらためて全戸配布を考えておりますので、そこも合わせて概要版も皆さまにご確認いただきたいと思っております。

伊藤議長：

最終版、概要版はでき上りましたら委員の皆さまにもご確認いただきます。答申書についても、どういう答申書であるかを皆さまにご確認いただきたいと思っております。後日、事務局と協議して皆さまにお伝えしたいと思っております。それでは、これまでご協力のもと5回の審議会を行い、ここまでくることができました。本当にありがとうございました。あらためて皆さまに感謝とお礼を申し上げたいと思っております。

事務局：

伊藤会長におかれましては、これまでスムーズな議事進行、誠にありがとうございます。冒頭に申しあげましたように本日の内容についてはホームページ等で公表させていただきたいと思っております。また、完成した後、印刷の一步手前のところで皆さまに郵送できたらと思っております。ホームページとともに議事録も作成いたしまして皆さまにお送りしますのでよろしくお願いたします。

### 3. その他・閉会

市長あいさつ

金剛市長：

5回にわたります本当に熱心なご議論、本当にありがとうございました。皆さまから本当によくまとまっている、というお言葉もいただきましたが、実際に作っている方としましたら、現状や課題を整理する時に「えらいことになってるな」と、現実を認識させられました。施策を書かせていただいている中で、できるだけ整理して書いたつもりですが、皆さまの方から見ればまだまだ施策の中で書き切れていないところもあろうかと思っております。それにつきましては、この施策のしたにぶら下がっている多くの具体的な実施計画の中で実現していきたいと思っておりますし、PDCAをまわして審議会の皆さんの厳しい目で進捗もチェックいただきたいと思います。実は、市長は審議会の皆さまにこの計画を諮問している立場なので、審議中は黙っていないといけないので、黙って聴かせてもらっていました。失礼しました。確かに、この計画はできるだけ整理したとはいえ、どうしても「あれもこれ

も」となりがちです。どれも大事ですが、実行するうちにはこの中から中期の 4 年間で特にしっかり力を入れてやるべきことが出てこようかと思います。そうしてこの中から更に選択と集中をしていきます。その節は、皆さんのいろいろな視点で、「こういう事業にはもっと力を入れてはどうか」ということもご指摘いただければ、それを自分たちの仕事に反映させたいと思いますので引き続き、総合計画中期基本計画とおつき合いいただきたいと思ひます。

また、三本木委員の意見にあった「日本一を目指す」というのは、確かにここに今すぐ反映できる自信はありませんが、なにかシンボルを、「宇陀はこれだ」というものが必要だと、先ほどのご意見をうかがって感じました。宇陀が誇れるもの、これは日本全国でも負けないぞ、と言えるもの、宇陀が元気になるようなもの、目指すべきものを引き続きみんな考えていきたいと思ひます。長い期間にわたりまして熱心なるご審議をいただき、本当にありがとうございました。もうお礼しかございません。ありがとうございました。

事務局：

以上をもちまして宇陀市総合計画審議会を終わりたいと思ひます。いろいろとご審議いただき誠にありがとうございました。

以上